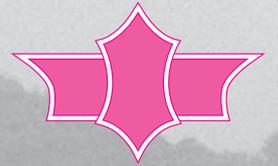


おばま



市議会だより

編集・発行 小浜市議会広報委員会

No.

124

子ども医療費の助成対象拡大!! ... P 2

市政を斬る!一般質問 ... P 4~6

がんばっています!! 議会改革 ... P 6~7

シカ・イノシシの被害に待った!!

鳥獣害対策費の増額を求める意見書を可決 ... P 8

ゴールまでがんばれ! えんやこーら! (西津小学校遠泳大会)

http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/gikai/frame_top.htm

6月定例会では、対象年齢を小学6年生までのすべての子どもに引き上げることをはじめとする、子ども医療費助成制度の大幅な改正が成立しました。(右かこみ参照)

今回は、県の助成事業の改正の上乗せ改正ではありますが、医療費のかさむすべての小学6年生までがカバーされる制度拡大は、子育て支援として大きく期待されております。

今回の子ども医療費の助成拡大は、市議会でも以前から一般質問で話題になっており、大きく評価される取り組みではありますが、まだ助成条件に課題が残されていることから、今後も医療費の動向や近隣町の取組み状況を見ながら、個人負担の軽減に向けた取り組みを続けてまいります。

今までは…「乳幼児医療費助成事業」
対 象…就学前までの乳幼児
個人負担…特になし(医療費全額助成)



ココがポイント
～子ども医療費の助成対象を大幅に拡大～

22年10月からは・・・
「子ども医療費助成事業」
対 象 ・小学校卒業まで… 全世帯
 ・中学校卒業まで… 市民税所得割課税世帯をのぞく
個人負担 ①通院など入院以外は1か月、1医療機関あたり500円の負担が必要。
 ②入院の場合は、1日あたり500円、8日分(4,000円)を上限とする負担が必要。
 ※就学前は今までどおり個人負担はありません。

◎議案の議決状況 (詳しい議決結果は議会ホームページに掲載しています)

区 分	可決件数	可決議案の主な内容
予 算	2 件	22年度各会計補正予算
条 例	4 件	小浜市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正についてほか
人 事	2 件	人公平委員会委員の選任について
報 告	9 件	平成21年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告についてほか
その他	7 件	専決処分の報告、意見書の可決ほか

6月定例会の概要

平成22年第6回定例会は、平成22年6月2日から6月25日までの24日間の会期で開催しました。
 今定例会では、補正予算案等諸議案が提出され、審査の結果、すべて原案が可決いたしました。

◎請願の議決状況

件 名	審査結果
農業農村整備事業予算の確保を求める請願	採択

人事案件に同意
 公平委員会委員の任期が満了することに伴い、6月定例会において次のとおり同意いたしましたのでお知らせいたします。
 《公平委員会委員》
榎野 敏雄 氏
 (大湊：再任)
松宮 恵子 氏
 (加茂：新任)

◎可決した会計別補正予算額

会計区分	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	65,005千円	13,818,005千円
特別会計	12,211千円	8,766,101千円
企業会計	0千円	854,869千円
合 計	77,216千円	23,438,975千円

また、公平委員会委員の選任を求める人事案件に同意し、請願の採択ならびに2件の意見書を可決、閉会いたしました。
 議決の内容は次のとおりです。

予算常任委員会委員長報告より (概要)

付託されました議案第45号「平成22年度小浜市一般会計補正予算(第1号)」ならびに議案第46号「平成22年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第1号)」について、6月2日の全体会で各分科会に調査依頼を行い、6月22日の全体会で分科会長の報告などの審査を行いました。

採決の結果は2議案とも挙手全員にて原案どおり可決すべきものであります。

審査過程における質疑や意見の主なものは次のとおりです。

◎企画総務分科会

コミュニティ助成事業について、事業認定についての説明、質疑が交わされ、委員からは地域における申請事業の位置づけ、重要性を考慮し、順位づけをされたいと意見がありました。

その他、ネットワークシステム等管理調査事業について調査結果の報告がありました。

◎産業分科会

観光施設維持管理経費(臨時)について、公衆トイレは市民や観光客などいろいろな人が使用するものであり、結果的に対象がわずかの人となっても十分配慮されたいとの意見がありました。

その他、おばま観光局運営基盤強化補助金について、除雪経費の補正についての調査結果の報告がありました。

◎民生文教分科会

保健衛生補助金について、国が女性特有のがん検診推進事業に補助金をつけている背景に、日本の死亡原因の第1位のがんであり、特に女性特有のがん検診の受診率が低いことから補助となっているとの報告がありました。

その他、知的障害者職親委託事業について、子ども医療費助成事業費について、豊かな体験活動推進事業についてなどの調査結果の報告がありました。

予算常任委員会の
審査状況

◎審査結果

議案第45号 平成22年度小浜市 一般会計補正予算 (第1号)	原案可決 とすべき
議案第46号 平成21年度小浜市 下水道事業特別会計 補正予算 (第1号)	原案可決 とすべき

6月定例会での
主な質疑

Q. おばま観光局への運営補助金は毎年出していくのか?

A. 観光局は本年立ち上がったばかりで収益事業については未確定の部分も多い。まず公益事業を通じ地域の活性化に寄与しつつ運営基盤の安定化を図りたい。この補助金は収益事業の展開に努め、出来得れば適切な時期に見直ししていきたい。

(産業分科会より)

Q. 鳥獣被害の防止には、県境や市町をまたぐ場合などの広域ネットワークが必要ではないか?

A. 協議会や会議などを通じて情報交換に努めているが、捕獲は各市町の地元猟友会を中心に実施している。取り組みには、各市町の財政状況も影響する。個体数調整も広域的な取り組みが必要であり、今後も機会を見つけて国や県に広域ネットワークの構築・連携を要望したい。

(産業分科会より)

Q. ネットワークシステム等の管理調査事業で情報漏えいは起こらないのか?

A. 雇用予定の臨時職員が行う調査はパソコンを1台ずつ開いてチェックし、その調査結果を入力する簡単な作業。正規職員の監視のもと、情報保守は厳しくしたい。

(企画総務分科会より)

Q. 廃止する不燃物処理施設の影響は大丈夫か?

A. 水質検査、ガス発生環境面への調査は、埋立終了してから2年半あまり調査しており、地中温度等を含め安定が確認されたということで廃止確認申請を提出した。仏谷区民の皆様にもその旨報告し、廃止することの了承を得ている。

(民生文教常任委員会より)